

ひのっ子エコアクション各校の取組み例

小学校	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
日野第一小学校	ごみが多く出されている。特に紙ごみが目立つので、各教室にリサイクルボックスを設置して分別する。	・廊下や教室などの電気のコマメな消灯、節水、裏紙利用、各学級でのごみの分別。	・各クラスでの節水・節電指導 ・プラスチックごみ新設の周知徹底 ・パレス化 ・裏紙の再利用 ・会議資料のペーパーレス化	・教室移動時は、最後に教室を出る人、係が電気を消す。 ・教員に配布する資料は、基本裏紙を使用し、リサイクルを意識している。 ・職員会議の資料はPCデータを活用し、極力用紙を減らした。 ・保護者への連絡手段としてHome&School1のアプリを活用した。 ・校内清掃を児童と保護者、地域で取り組み、ごみのない校舎にした。	・裏紙をストックし、リサイクルを意識している。 ・職員会議の資料はPCデータを活用し、極力用紙を減らした。 ・校内清掃を生徒と保護者、地域で取り組み、ごみのない校舎にした。
豊田小学校	今年度、市内の残菜調査の結果がとてよかったことを活かし、来年度も引き続き指導していく。そのために、来年度の時期は給食の時間を5分多くとる予定である。	・給食の時間で、時間を5分多くとることで余裕をもって給食の準備をすることができた。 ・市内の残菜調査の結果が良かったことを活かしつつ、来年度も引き続き指導していく。	・エコ目標を掲げ、学期毎に教職員全員で振り返りを行い、次の学期に生かすようにした。	・使用後はしっかり水を止め、蛇口を下向きにする。 ・可燃ごみ、不燃ごみ、リサイクル紙等の分別を意識した。 ・教室を離れる時は大型モニター、空調機、照明等のOFFを確認する。 ・紙ごみは、できる限りリサイクルに回す。(裏が白いものは、再利用する。両面印刷の用紙・包装紙は、リサイクルに出す。両面印刷の切れ端を使う。等) ・職員会議の資料・行事の反省等はPCデータを活用した。 ・極力用紙を減らすため両面印刷をした。 ・緊急事態宣言期間中最終退勤時間の設定。	・使用後はしっかり水を止め、蛇口を下向きにした。 ・教室を離れる時は大型モニター、空調機、照明等のOFFを確認した。 ・可燃ごみ、不燃ごみ、リサイクル紙等の分別を意識した。 ・紙ごみは、できる限りリサイクルに回す。(裏が白いものは、再利用) ・両面印刷の用紙・包装紙は、リサイクルに出す ・職員会議の資料・行事の反省等はPCデータを活用した。 ・極力用紙を減らすため両面印刷をした。 ・6月より学校日より、学年日より、C4th Home&School1で配信した。
日野第三小学校	各教科・領域、特別活動などで地球の環境に目を向け、省エネやゴミの削減活動を行っていく。	・さらに次年度は、各クラスで、地球環境に目を向け、省エネ、ごみの削減に取り組めるようになる。	・ごみを減らし、給食の残菜を減らせるように努力した。	・冷暖房の温度設定を意識して使用し、節電に取り組んだ。 ・裏紙を使用し、紙の節約をした。ごみを減らした。 ・栄養について児童に指導し、残菜を減らした。	・冷暖房の温度設定を意識して使用し、節電に取り組んだ。 ・使わない教室の電気をこまめに消した。 ・裏紙を使用し、紙の節約をした。 ・Home&School1を活用して、学校日より保健だより等は紙での発行をやめ、電子メールでの配信をした。 ・栄養士と協力して、栄養について児童に指導し、残菜を減らした。
日野第四小学校	引き続き児童・教員ともにエコアクションへの取り組みの反省を取り意識付けをする。エコキングについて、環境委員会に呼びかけてもらうなどして回収率を高める。	・引き続き児童・教員ともにエコアクションへの取り組みの反省を取り、意識付けをする。 ・エコキングについて、環境委員会に呼びかけてもらうなどして回収率を高める。	・紙使用量の削減(裏紙の使用) ・廃棄物の削減(印刷物の適正枚数作成 授業で使う消耗品の節約等)	・校内での使用は、裏紙の使用を徹底した。その結果、紙の量を削減することができた。 ・ペーパーレスを目的とし、紙の使用を最低限とした。その結果、拡大機の紙や印刷用紙等、すべての紙の量が昨年度より削減した。	・毎月、美化委員会の児童がごみの分別ができていないか、各クラスを確認し、児童とともに意識を高めることで、児童間でごみの分別を意識することができた。 ・使用しない電気やエアコンの電源は必ず切るように学校全体で意識して取り組んだ。児童下校後は、職員室にて仕事を完了するようにした。 ・児童に配布する以外の目的で使う紙媒体の資料は、裏紙を使用し、リサイクルを意識した。 ・アプリを使用し、紙媒体で学校からのお便りを配布するのではなく、PDFで配信することで、紙の使用を少なくすることができた。 ・職員会議の際、栄養士から月ごとの残飯の割合を示してもらい、学校全体で残飯の削減を意識することができた。
日野第五小学校	児童：児童会で話し合い、全校で環境に取り組める活動を提案していく。 教員：電気の使用量をグラフなどを活用して視覚化し教員全体で電気を減らす意識を高めていく。	・環境委員会と連携して、定期的にエコ活動を行う。 ・学校全体で、クラスに電気の消す係を設け、節電に努める。	・水道の出し過ぎに注意して鉛筆の細さにする。 ・教室移動や空いている教室はこまめにスイッチを消す。	【4年社会科】 ・水の学習を通して、水の大切さを学び、節水を意識した。 ・各クラスで、節電係等、エコに関する取り組みを行う係を作り、子供たちに意識させた。 ・職員会の資料をPCデータを活用したり、職員配付資料は裏紙に印刷したりした。 ・飼育委員の活動で、給食に使う野菜の外側部分等を取っておいでもらい、動物の餌にした。 【5年稲作学習】 ・食の大切さを学んだ。給食を毎日残さず食べることを目標にし、取り組んだ。 【3年社会科】 ・日野市の農業に携わる人の仕事について学び、食べ物の大切さに気付いた。 【4年社会科】 ・「昔の暮らし」について学び、今の生活の便利さを知ると共に、物を大切にすることを学んだ。 ・保護者と学校周辺の公園清掃活動を行った。 ・全校ボランティア清掃を行い、落ち葉の堆肥化及び、ごみ減量に取り組んだ。 【6年理科】 ・酸性雨の学習を通して、環境問題に目を向けた。	・毎月、美化委員会の児童がごみの分別ができていないか、各クラスを確認し、児童とともに意識を高めることで、児童間でごみの分別を意識することができた。 ・使用しない電気やエアコンの電源は必ず切るように学校全体で意識して取り組んだ。児童下校後は、職員室にて仕事を完了するようにした。 ・児童に配布する以外の目的で使う紙媒体の資料は、裏紙を使用し、リサイクルを意識した。 ・アプリを使用し、紙媒体で学校からのお便りを配布するのではなく、PDFで配信することで、紙の使用を少なくすることができた。 ・職員会議の際、栄養士から月ごとの残飯の割合を示してもらい、学校全体で残飯の削減を意識することができた。
日野第六小学校	・トライ&チャレンジ(落ち葉掃除、落ち葉の堆肥化)などの取り組みを継続し、環境意識をさらに高めるよう、CO2削減の必要性などの学習に取り組む。	・トライ&チャレンジ(落ち葉掃除、落ち葉の堆肥化)などの取り組みを継続し、環境意識をさらに高めるよう、CO2削減の必要性などの学習に取り組む。	・エコアクションシート(児童用)で毎月の振り返りを行っている。 ・正しくゴミの分別ができるように、見やすい位置に表示をしている。	・明るさの確保できる階段や廊下の電気も消灯し、節約している。 ・人数プラス印刷を、5枚以内にする事で再生紙になる量が昨年度に比べて減らすことができた。 ・文具の使いきりや、中身の取り替えなどの工夫して、実施することができた。 ・自己申告の際にも、目標帰宅時間を確認し、常に意識することができた。夜遅くまで仕事をする職員が減らすことができた。	・職員室、事務室にリサイクルボックスを設け、紙、プラスチック類の分別を行った。 ・校内のごみ捨て場では、可燃、不燃、プラスチックで分別した。それが集まるとペットボトル、缶、リサイクル紙等を集積し、所定日に回収している。 ・全教職員が不要な教室の照明や空調は、こまめにスイッチを切るように行動した。 ・印刷時にサイズごとに分類した裏紙を置き、可能な限り、印刷には裏紙を利用した。 ・会議の資料はできるだけPCを活用し、紙での印刷は90%削減された。 ・児童の環境委員会が、ごみの分別と電気・水の節約を全校児童に呼びかけた。ポスター作製し、啓発に努めた。
潤徳小学校	ごみ袋の削減を徹底したい。また、PTAとも協力し、ベルマーク、インクカートリッジ、テトラパックの回収を行い、エコに努めていく。	・ごみ袋の削減を徹底したい。 ・また、引き続きPTAとも協力し、ベルマーク、インクカートリッジ、テトラパックの回収を行い、エコに努めていく。	・エコキャップ、テトラパックの回収。	・ごみの分別方法が分かりやすいように、ごみ箱に分別の掲示をしている。 ・教室移動時は、日直や係が電気を消している。 ・教員に配布する資料は、基本裏紙を使用している。 ・職員会議の資料は殆どPCデータを活用している。 ・給食委員会が集会で呼びかけをしている。	・ごみの分別方法が分かりやすいように、ごみ箱に分別の掲示をしている。 ・教室移動時は、日直や係が電気を消している。 ・教員に配布する資料は、基本裏紙を使用している。 ・エコ委員会が放送等呼びかけを行い、全校でリサイクルに取り組んでいる。 ・職員会議の資料は殆どPCデータを活用している。 ・給食委員会が集会で呼びかけをしている。
平山小学校	・各学年・学級で電気・エアコンの適正な使用や紙の再利用等を意識して取り組む。 ・教職員の取り組みについては、引き続き、勤務時間の見直しとゴミの分別・私物ゴミの持ち帰りを呼びかける。	・退勤時刻の繰り上げやエネルギーシェアの一層の推進による電気使用量の削減。 ・緑のカーテンの継続。紙のリサイクル・リユースによる可燃ごみの削減。	・退勤時刻の繰り上げ、放課後は校務センターでの職務を進め、節電を心掛ける。 ・全教室、職員室に燃やすごみ、燃やさないごみを設置することで分別の意識を高める。	・燃やすごみ・燃やさないごみ箱を全教室に設置し、児童・職員そろって分別に取り組むことができた。 ・特別教室での、使用しない機器のコンセント抜きができた。常時使う場所では、コンセントを抜くことができなかったも、主電源を切ることを心掛けた。 ・エコ委員会が各教室にエコボックスを設置し、紙を再利用できるようにした。 ・教員に配布する資料は、基本裏紙を使用し、リサイクルを意識している。 ・文具は最後まで使い切る。中身を替えて使うようにした。職員会議などで、呼びかけ合い文具の中身替えが職員間で共通理解された。	・手洗いをする際に、水の出しすぎや流しっぱなしをしないように指導した。 ・燃やすごみ・燃やさないごみ箱を全教室に設置し、児童・職員そろって分別に取り組むことができた。 ・特別教室での、使用しない機器のコンセント抜きができた。常時使う場所では、コンセントを抜くことができなかったも、主電源を切ることを心掛けた。 ・エコ委員会が各教室にエコボックスを設置し、紙を再利用できるようにした。 ・教員に配布する資料は、基本裏紙を使用し、リサイクルを意識している。 ・児童が使った紙の残りを集めておき、別のものに使えるようにした。 ・エコフイードについて学び、日々の給食を残さないようにした。 ・文具は最後まで使い切る。中身を替えて使うようにした。職員会議などで、呼びかけ合い文具の中身替えが職員間で共通理解された。
日野第八小学校	各学級や委員会の活動で、節電、節水、残菜について、引き続き取り組む。次年度は新たに、各学級や委員会の活動として緑のカーテンなど植林活動に力を入れて取り組む予定である。	・各学級や委員会の活動で、節電、節水、残菜について、引き続き取り組む。 ・ごみの分別を徹底できるような環境整備する。特に、紙ごみなどの資源をリサイクルする。	・持続可能な社会を担う児童の育成を目指して、ESDの視点を取り入れた教育活動を各学年で年間を通して行う。 ・可燃ごみ・不燃ごみ・雑紙・プラの分別を徹底する。 ・退室時には、こまめに電気を消す。 ・水道の水の出しすぎに注意し、水の出しっぱなしはしない。	・感染症対策での手洗いと水の出しっぱなしを防止するポスターを流しに掲示した。 ・衛生ゴミ(使ったティッシュなど)は別袋で回収、密封。 ・電気の消し忘れを全員が意識し、他教室でも気が付いたら消す。 ・教員に配布する資料は、基本裏紙を使用し、再利用を意識している。 ・職員会議、校務に関する会議の資料はPCデータを活用し、ペーパーレスで行った。 ・環境について調査した5年生が、SDG sに絡めて啓発ポスターを校内に掲示。 ・緊急事態宣言期間中は最終退勤時刻20時厳守。	・感染症対策での手洗いと水の出しっぱなしを防止するポスターを流しに掲示した。 ・衛生ゴミ(使ったティッシュなど)は別袋で回収、密封。 ・環境について調査した5年生が、SDG sに絡めて啓発ポスターを校内に掲示。 ・電気の消し忘れを全員が意識し、他教室でも気が付いたら消す。 ・教員に配布する資料は、基本裏紙を使用し、再利用を意識している。 ・雑紙も燃やさないごみではなく、回収の際に再分別した。 ・職員会議、校務に関する会議の資料はPCデータを活用し、ペーパーレスで行った。 ・コロナ禍でもどのような取り組みができるか児童自身が考え、放送、オンラインで、フードロス、SDG sの取組啓発を行った。 ・学区内の用水を複数巡回ゴミ拾い実践した。 ・児童の自発的な研究発表会としてESDミーティングを行い、校内美化、地域美化の取組啓発の具体的な方策を検討実践した。 ・6年生が奉仕活動として高地に隣接するサイクリングロードの灌木測定などを行った。

滝合小学校	次年度も緑化活動と用水路を生かした、ビオトープの活用。委員会活動を通して、3Rの意識を育て、エコに関する活動を増やしていく。	・芝生整備に加えて、保護者・地域と連携したビオトープ整備に取り組む。 ・委員会活動を通して日常的な節電・節水等環境を含んだSDGsをさらに周知し、理解を深めさせエコに関する意識を向上させ実践できるようにする。	・芝生再生プロジェクト(緑の校庭)で学校やPTA、地域と連携して芝生の維持管理、田んぼや畑、ビオトープの活用と整備 ・裏紙・使用済み封筒の利用	・節水呼びかけ、手洗いの際も水を出しっぱなしにしないよう注意喚起をした。 ・教室移動の際の教室や、児童が通らない時間帯の廊下の電気を消すなど節電に取り組んだ。 ・分別、リサイクルの呼びかけをして、ごみの減量に取り組んだ。 ・職員会議の資料はPCデータを活用し、極力用紙を減らした。 ・給食指導を通した食べ残しを減らす取り組み ・緑地、芝生、ビオトープを活用した授業や活動 ・水田による米作り・植物の栽培・自然物を使った工作 ・河川や用水、湧水を活用した授業や活動 ・水道キャラバン	・節水呼びかけ、手洗いの際も水を出しっぱなしにしないよう注意喚起をした。 ・教室移動の際の教室や、児童が通らない時間帯の廊下の電気を消すなど節電に取り組んだ。 ・分別、リサイクルの呼びかけをして、減量に取り組んだ。 ・職員会議の資料はPCデータを活用し、極力用紙を減らした。 【子どもたちへの環境教育】 ・緑地、芝生、ビオトープを活用した授業や活動 ・水田による米作り・植物の栽培・自然物を使った工作 ・河川や用水、湧水を活用した授業や活動 ・水道キャラバン ・給食指導を通した食べ残しを減らす取り組み ・エコキングの取り組み
日野第七小学校	児童自らエコについて考え、積極的に取り組める活動を行う。	・引き続き、節電、節水に努め、給食の残菜を減らす意識を高めることができる集会や児童会活動を行っている。 ・全校で、地域のクリーン運動やリサイクル品の回収に努めていく。	・節電、節水、ゴミや給食の残菜量を減らすよう、職員や児童に周知し、実践の徹底を図った。	・可燃物・不燃物・プラスチックごみの分別をゴミ箱ごと分類して処分できるようにしている。(職員室・教室・印刷室・階段下ゴミ集積場所) ・教室不在時には、極力電気を消す対応を取るようにした。 ・印刷ミス等があった際は、個人情報を含んだものは断断機にかけリサイクル化、そうでないものは裏面利用紙として活用している。 ・会議等にかかる資料は行事予定表以外、全て電子データで提示している。	・可燃、不燃物、プラスチックの3種に分けて、ゴミ箱を設置している。箱には、色別にて表示をし分別が確認できるようにしている。 ・教員に配布する資料は、基本裏紙を使用している。リサイクルできる紙はゴミとせずに、リサイクル箱へ入れて、回収してもらうようにしている。 ・職員会議や職員打ち合わせなど、必要な資料はPCデータを活用し、紙を使わない会議をしないようにしている。
南平小学校	児童会でこども祭りなどの学校行事を計画するにあたり、エコについて呼び掛ける活動を継続して行う。各クラスで給食の残飯を減らす活動を行う。学級活動の時間を活用して、学校全体で取り組む期間を設定する。	・こどもまつり等の学校行事を計画するにあたり、エコについて呼び掛ける活動を継続して行う。 ・各クラスで給食の残飯を減らす活動を行う。	・各クラスでリサイクルボックスを設置し、指導した。 ・ゴミ袋がいっぱいになってから廃棄場所にゴミを捨てるようになった。	・燃えるゴミ、プラスチックゴミ、燃えないゴミ、資源ゴミの分別の表示を行い、正しく分別してゴミを出すことができるようにした。 ・未使用教室の消灯、エアコンの温度管理など節電を図った。 ・紙の削減のため、職員会議ではC4th上のデータでやり取りを行ったことで、削減を行った。 ・ごみゼロポスターの募集を行い、提出した児童の作品を掲示し児童の関心を高めた。	・手洗いの際には、水を出しっぱなしにしないように掲示物を各水道に設置している。 ・可燃ゴミ、プラスチックゴミ、不燃ゴミの表示をしたことで、ゴミを捨てる前の分別を行うことができるようになった。 ・教室移動の際には、電気を消すなど使用していない教室の電気を消すことを教育することができた。 ・会議資料をPDFとしてパソコン上で行うことで、紙資料の削減を行った。 ・ペットボトルや缶、段ボールなど再利用できる資源ゴミを回収して、リサイクルを行った。 ・環境委員会での花の飼育活動をポスターで知らせたことで、環境への意識を高めた。
旭が丘小学校	今後は、職員だけでなく、児童に対してもエコ活動の大切さを周知していく必要があると感じた。	・今後は、職員だけでなく、児童に対してもエコ活動の大切さを周知していく必要があると感じた。	・教員・児童のエコ意識を高める。ごみの分別・リサイクルを進めた。 ・不要な照明を消す、使っていない機器は電源を落とすなどの節電に取り組んだ。	・ごみを資源にできるものとできないものに分別して回収箱に入れたようにした。 ・教室離室時には照明を消すように徹底した。 ・職員への配布資料のほとんどを電子データで閲覧できるようにして紙資源の使用を減らした。 ・地域の方と学校雑木林の手入れをするを通して、子供は自然環境を保持することについて考えた。	・プラスチックごみの分別の仕方を表示し、どのボックスに入れるとよいか見分けられるようにした。 ・紙専用のダストボックスを用意し、小さな紙片もシュレッダーにかけて再利用するようになった。 ・裏紙ボックスを設けて、配布する校内資料については一度印刷した用紙を再利用するようにしている。 ・会議の書類を電子化しており、紙の使用はほとんどなかった。 ・感染症の拡大防止から熟食を徹底したこと、食べることに集中することができるようになった。このことから、給食を完食することができるようになった。
東光寺小学校	紙一枚大切にすることからはじめ、児童一人一人の心を育ていける取り組みを新たに全校で考えていきたい。	・紙ごみの分別が徹底されていない。リサイクルゴミ、燃やせるゴミ、燃やせないごみの分別を促進する。 ・エコキングについて保護者会・学年便り等を通して、家庭にも呼び掛けることで、さらに回収率を上げる。	・もったいない大作戦で、各クラスごとに目標を決めて取り組んだ。	・日常的に、教室移動の時には電気を消す・扇風機を止める。 ・水を出しっぱなしにしない、出でいたら止めるなどの指導と実践をした。子供たちが自分から気付くことが多かった。 ・ごみ箱に色別表示をするなどして、分別を分かりやすくする工夫をした。 ・燃やせるゴミとプラスチックゴミの分別が確実にできるようになってきた。 ・教職員は水曜日には定時退勤日なので、みんなで声を掛け合って退勤し、電気の使用について意識するようになった。 ・紙はリサイクルできるものはリサイクルに回し、切れ端などは専用のコーナーを作り、係活動等で使用した。 ・係活動などで絵や文章を書くときには、下書きの段階では裏紙やホワイトボードを使用した。 ・特別活動の授業で、食べ残しなどについて学び、給食の量を調節して自分で食べ切れるだけにしたり、完食を促すポストスターを作製したりした。 ・エコキャップ運動を継続して実施しており、保健室前にある段ボールに毎回相違数のキャップを回収している。 ・3学期に6年生が地域の清掃活動を行った。ボランティア袋の存在を知ったり、思っていたよりゴミがあることに気付いたりした。	・水道の水を子供たちがすすんで止めたり、流しっぱなしで作業をしないようにした。 ・燃やせるゴミとプラスチックの分別を確実にできるよう指導した。 ・紙はリサイクルできるものはリサイクルボックスに、切れ端などは専用のコーナーを作り係活動で使用した。 ・ごみ箱に色別表示をして、分別が分かりやすいように工夫した。 ・休み時間には電気当番がこまめに電気を消した。 ・教室移動の時には電気を消す、扇風機を止めるなどの指導をし、子供たち自身で実践できるように声掛けをしている。 ・班のポスターや総合の学習でのお礼の手紙、発表用のポスターの下書き等は、裏紙を使用した。 ・図工で使用した色画用紙など、まだ使用できるものは専用のボックスに入れた。 ・職員会議・各部会・委員会での会議はPCを活用し、紙の使用を減らした。 ・食卓や食べられる量は個人差に配慮してよそった。 ・食べ物の栄養やフードロスについて栄養士と一緒に学習したり、食べ残しについて考えたりするなどの学習を通して、完食することができるようになった。 ・本校には、保健室の前にペットボトルキャップ入れの段ボールが置いてあり、家から持ってきたペットボトルキャップを入れていた。たくさん集まったら日野市ボランティアセンターに動いてもらってほしい方が持って行ってくださっている。冊子『Volunteer Information』のボランティア互版に、東光寺小の名前が載っている。
仲田小学校	給食委員会の児童によるレシピ作りは次年度も引き続き行う予定。空き缶、インクカートリッジ、テトラパック等のリサイクル活動も継続していきたい。	・給食委員会の残菜調査やポスター等の呼びかけを、引き続き行っていく。 ・PTAと協力して、空き缶やインクカートリッジ、テトラパック等のリサイクル活動を今後も継続していきたい。	・保護者と協力してリサイクル活動を行い、全校で落ち葉拾いに取り組んだ。	・各クラスに可燃物と不燃物のごみ箱を用意し、分別できるようにした。 ・教室を移動する等、最後に教室を出る人は必ず電気を消すようにした。人の利用していない時間は電気・エアコン等も消すよう心がけた。 ・空き缶(アルミ缶)の回収 クラス毎の担当を決め、保護者と協力して定期的に回収した。 ・裏紙の利用を心がけた。回収の際は、サイズ別になるようにし、再利用しやすいようにした。 ・会議等の資料はPCを活用し、できるだけ用紙を配布しないようにして紙の利用を削減した。 ・落ち葉拾い 自然の豊かさを学びつつ、きれいにすることの大切さを感じながら楽しく活動できた。 ・大掃除週間 学期末に1週間程度の期間を設け、各日で重点的にきれいにする場所を決めて取り組むようにした。	・毎日、水道メーターを点検し、漏水等がないか確認した。 ・各クラスに可燃物と不燃物のごみ箱を用意し、分別して集めるようにした。 ・教室移動など、最後に教室を出る人は必ず電気を消すようにした。人の利用していない時間は電気・エアコン等も消すよう心がけた。 ・保護者と協力して、空き缶(アルミ缶)の回収を定期的に行なった。クラス毎の担当が決まれば、リサイクルの意識向上につながった。 ・サイズ別に回収し、再利用しやすいようにして裏紙の利用につなげた。 ・会議等の資料はPCを活用し、用紙の配布は必要最小限にした。 ・食事をいただけることを感謝し、食べられる量をいただきながら、残飯が少なくなるようにみんなで取り組んだ。きれいに食べたクラスには「ベロクック賞」と「からっぽ賞」を渡し励みにした。 ・落ち葉拾い集会 クラスごとに活動する場所を分担して行った。自然の豊かさを学びつつ、きれいにすることの大切さを感じながら楽しく活動できた。 ・学期末に必ず『大掃除週間』を1週間程度の期間で設け、各日で重点的にきれいにする場所を決めて取り組むようにした。児童それぞれが意識して掃除に取り組めた。 ・校長が全校児童にSDGsの大切さについて講話し、一人一人が自分にできることを考えようと呼びかけた。
夢が丘小学校	エコアクションの自校の取り組みに節電の項目を追加する。縦割り班のボランティア活動としてゴミ拾い活動を行う。家庭にも広げていきたい。	・アサガオを用いたグリーンカーテンの作成。 ・PTAと協力して、空き缶やインクカートリッジ、テトラパック等のリサイクル活動を今後も継続していきたい。	・チェック表を活用し、毎月振り返りをして取り組んだ。 ・エコ目標を、各クラス決め掲示し取り組んだ。	・各クラス、ごみ箱の分別を明記し、児童にも指導し確実に取り組んだ。 ・教室を退室するときにチェックと日直のチェックと二重チェックを行った。 ・毎週水曜日を定時退勤日とした。 ・印刷室、事務室に紙のリサイクル場所を設け、利用した。 ・職員会議の資料はPCデータを活用し、極力用紙を減らした。 ・各クラス、エコアクション表をもとに、毎月の振り返りを行った。 ・毎学期、クラスごとに目標を設定しエコを意識して取り組んだ。	・教室、玄関に表示を大きくし他ゴミ箱を設置した ・各教室担当が責任をもって、最後消すと共に日直が最後に確認をする2重チェックを行った。 ・印刷室や事務室にリサイクルする棚を設け確実に行った。 ・地域清掃に各学年、場所を決めて保護者と取り組んだ。下学年にレポートした。 ・ひのっ子エコアクションのチェック表を活用した。ほとんどが、おおむねできているか、できているであった。 ・各クラスで月ごとのエコ目標を立て取り組んだ。
七生緑小学校	エコキャップウィークの取り組みを継続する。3Rの意識啓発のため、目標を学級で定める。	・エコの意識を高めっていくために、環境委員会を中心にエコキングの呼びかけを実施する。 ・エコキャップウィークの取り組みを継続する。	・教職員のコンビニ弁当などのゴミの持ち帰り ・各教室の電気の見回りなどの強化 ・雨水を利用したスプリンクラー	・節水シールを流しに貼って呼びかけをした。 ・水道を出しっぱなしにしないよう、栄養士が調理のスタッフたちに声掛けをした。 ・R2年度より、ゴミ箱を一部撤去。お弁当や軽食など持ち込んだゴミは各自持ち帰るようルール化した。 ・各学年「エコ係」を配置し、電気スイッチのON/OFFをこまめに行った。 ・エアコンフィルターを高圧洗浄機で定期的に清掃し、消費電量を抑えた。 ・職員室にテトラパック回収ボックスを設置し、テトラパックリサイクルを職員間で意識するようになった。 ・裏紙をA5サイズにカットし重ね、メモ用紙等に活用した。 ・段ボールはすぐに廃棄せず、収納箱として再度活用するようになった。また、リサイクル業者の引き取りを徹底した。 ・裏紙での印刷が可能なものは裏紙を使用し、紙の量を減らした。 ・会議ではPC上で資料を共有し、印刷する紙の量を減らした。 ・保健室や手洗い場で使用する消毒液や液体石鹸を入れる容器は、リサイクル率の高い「ソフトボトル」という材質を選んで購入した。 ・6年生の「提案しよう言葉とわたしたち」の単元では、校内の消費電力や水の消費量を調べ、児童たちは各委員会に提案を持ちより、ポスターを作成したり、校内放送をしたりと、啓発活動に励んでいた。	・各学年にエコ係など、電気をけしたり、省エネを促す係が見られる。 ・エアコンの温度調整や、フィルター掃除など、児童と職員が協働して省エネの努力をしている。 ・印刷室の裏紙の使用ボックスを置くことで、職員に裏紙を積極的に使用する場面が増えた。 ・クロムブックやC4 t hホーム&スクールの活用で、課題を電子化したり、お知らせをPDF化したりして児童も職員も一定量のーパースができていく。 ・給食の食べ残しを減らすよう、給食委員の児童たちがポスターをつくる活動をしている。また、残菜の集計も行った。 ・職員室にテトラパック回収箱をおいたり、各職員にゴミを持ち帰ることの声掛けをしたりして、まず職員のゴミ削減の意識をもたせた。

(中学校)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
日野第一中学校	地域とのかかわりをはじめ、なるべく多くの生徒が活動に主体的にかかわる機会を多く用意することにより省資源、省エネルギーへの意識を高めていきたい。	・地域とのかかわりをはじめ、なるべく多くの生徒が活動に主体的にかかわる機会を多く用意することにより、省資源、省エネルギーへの意識を高めていきたい。	・緑のカーテン、ゴミの分別、「ヒマワリデー」による清掃活動、校内美化活動に積極的に取り組む	・コンタクトケース回収プロジェクトに参加し、5kg回収。 ・教室での落とし物を回収し、落とし主にもどるようにした。(3Rプロジェクト)	・ポスター、表示など様々な取り組みを行い、ごみの分別を 行いやすくした。 ・職員配布プリント、家庭配布プリントなどをクロムブック等を利用して、極力減らした。 ・コンタクトレンズの回収取り組みに参加し、4kg以上のケースを回収した。 ・校内の美化のために、花壇に花を植えた。また近辺の清掃にも取り組んだ。
日野第二中学校	省エネに関しては、美化委員だけでなく他の委員会や生徒会全体で呼びかけをしたい。ポスターを作らせることでそれを見る生徒だけでなく作る生徒の意識も高めたい。	・裏紙の利用の徹底。 ・電気・エアコンをこまめに消すことを各学年で徹底すること。	・再利用、節約、ゴミの分別を徹底して行う。	・節水の呼びかけを手洗い場に掲示 ・ゴミの分別について意識を高めるようポスター掲示 ・リサイクル紙置き場を印刷室に設置 ・ペットボトルリサイクルについてわかりやすく掲示 ・会議のデータベース化やPCの活用による、紙の削減 ・給食だよりによる残飯を減らす呼びかけ ・残飯を減らすための給食時の指導	・手洗い場に節水の掲示 ・可燃ゴミとプラスチックごみの分別を徹底しました。(分別についてポスターなど作成) ・教室移動時は、最後に教室を出る人が必ず電気を消す ・教員に配布する資料は裏紙を使用しました。 ・使用済封筒は交換便封筒で再利用。 ・chromebookで会議資料を共有 ・Home&Schoolで保護者への文書連絡を行う ・学年ごとに余り具合をみて、他の学年やクラスでもおかわりする人を募り残飯を削減した。 ・コンタクトのアイシティのエコプロジェクトのコンタクトの空ケースの回収をポスターで呼びかけ回収し感謝状をいただいた。
七生中学校	生徒会を中心とした、エコな呼びかけ運動(電気をつけっぱなしにしない、節水を行う)給食委員会による残食0への呼びかけ、ポスターの作成	・ペットボトルキャップの回収 ・節電・節水の呼びかけ ・会議資料のペーパーレス化(徹底)	・節電、節水を呼びかける内容の掲示を校内で行っている。	・ゴミの分別表を掲示し、ゴミの分別が確認できるようにした。 ・裏紙を使用することを心がける。使用した紙は可燃ゴミではなくリサイクル用紙として回収。 ・環境新聞を作成し、各自で発表を行った。	・ゴミの分別表を掲示し、ゴミの分別が確認できるようにした。 ・裏紙を使用することを心がける。使用した紙は可燃ゴミではなくリサイクル用紙として回収。 ・生徒会活動の一環でペットボトルキャップの回収を集会で呼びかけた。 【環境教育】 ・環境新聞を作成し、各自で発表を行った。
日野第三中学校	節電以外にも、身近に取り組める緑のカーテンなどに挑戦していきたい。	・生徒会の活動としてエコキャップ運動を行い、学校全体にエコキャップ回収を通じた環境活動の意識づけを行う。	・職員室において学校全体エアコンを一括管理し、気温の変化に応じて学習環境を生徒自ら行うように努める。	・感染症対策を優先したが、水を出しっぱなしにしないよう、ステッカーを張り注意喚起をした。	・可燃物、不燃物とプラスチックごみの見分け方をポスターで表示し、分別前に確認ができるようにした。 ・生活委員が、教室移動時に電気、エアコンを消した。また、節電、節水の呼びかけをした。 ・朝の打ち合わせ、職員会議の資料はPCデータを活用し、極力用紙を減らした。 ・給食委員が残食調査を実施し、完食を呼びかけた。残食の少ないクラスには、給食委員長から表彰状が授与された。 ・職員は、業務に関するもの以外の自分のゴミは自分で持ち帰るよう呼び掛けた。
日野第四中学校	リサイクルボックスの紙の分別 使用しない電気、扇風機、エアコンの消灯	・古紙回収活動・省エネルギー指導	・校内にごみの分別のポスターを貼り、ゴミ箱に分別の表示、エコアクションに取り組んだ。	・不燃物とプラスチックごみの見分け方をポスターで表示し、分別前に確認ができるようにした。 ・生徒会美化委員会によるポスター掲示や新聞、生徒会朝礼などを通じて全校に呼びかけをした。 ・教室移動時は、最後に教室を出る人、係が電気や扇風機を消す。 ・空き教員が教室を巡回し、消灯する。 ・教員配布資料は基本裏紙を使用し、リサイクルを意識している。 ・教室での余りプリント・職員室の余りプリント等、生徒の美化委員会に週1回、点検とリサイクル用に梱包作業を実施。 ・職員会議の資料はPCデータを活用し、極力用紙を減らした。 ・校内清掃を有志生徒によって取り組み、ごみのない校舎にした。 ・校舎周りの落ち葉掃きを行った。	・不燃物とプラスチックごみの見分け方をポスターで表示した。 ・生徒会美化委員会による分別ポスターの作成、分別についてを美化新委員会新聞を作成することで全校生徒に呼びかけた。 ・教室移動時には、電機や扇風機を日直や係の生徒が消す。 ・教員に配布する資料は基本裏紙を使用し、リサイクルを意識している。 ・職員会議の資料はPCデータを活用し、用紙を減らした。 ・校内清掃を有志生徒によって取り組み、ごみのない校舎を目指した。 ・校舎周りの落ち葉掃きを行った。
三沢中学校	・美化委員会を中心とした節電の取り組みを活性化させる。 ・省エネ、省資源はもとより、物を大切に、ごみを出さないための工夫を考えていく。	・今年度同様リサイクルボックスを各教室に設置。 ・電気使用についてエコ運動を行う	・ペットボトルキャップの回収 ・ゴミの分別 ・職員 ゴミの持ち帰り 裏紙の再利用	・感染症対策を優先したが、水を出しっぱなしにしないよう、ステッカーを張り注意喚起をした。 ・不燃物とプラスチックごみの分別を表示し確認ができるようにした。 ・省資源に関する意識が持続するよう、こまめな電源のOFFや、電気機器の使用の制限の意識を持った。エアコンは感染防止の意識を優先した。 ・教員から省資源意識向上し、生徒への波及を努めている。配布資料は極力ICTを活用し、用紙を使用する際も裏紙を使用した。 ・生徒会が主体となってペットボトルキャップの回収を行った。	・ゴミ箱を燃えるゴミ・プラスチック・不燃別に分け分別収集を行いました。 ・コンタクトレンズの空き容器を収集ボックスを配置し収集しました。 ・教室・職員室でリサイクル収集を実施。 ・教室のゴミ箱を小さくしゴミを削減しました。 ・職員室のゴミ箱を減らしゴミを削減しました。 ・職員室、持ち込んだペットボトル、お弁当ガラの持ち帰り等の持ち帰りを推進しました。 ・収集ボックスを配置し収集を行いました。 ・コンタクトレンズの空き容器を収集ボックスを配置し収集しました。
大坂上中学校	まずは、これまで継続してきた活動については、来年度も続けていくようにする。新しい試みというよりは、今行っている活動をより深められるような呼びかけをしていきたい。	・裏紙の再利用、キャップ回収、節電など	・裏紙の再利用 ・キャップ回収 ・節電	・感染症対策での手洗い時、石鹸をつけている間でも、水を出しっぱなしにしないよう、ポスターで注意喚起をした。 ・不燃物とプラスチックごみの見分け方をポスターで表示し、分別前に確認ができるようにした。 ・教室移動時は、最後に教室を出る人、係が電気を消す。 ・教員に配布する資料は、基本裏紙を使用し、リサイクルを意識している。 ・ペットボトルキャップ回収、使い捨てレンズ回収。 ・職員会議の資料はPCデータを活用し、極力用紙を減らした。	・水の無駄づかいが減った ・生徒自らごみの分別ができるようになった ・裏紙を再利用を行った ・ペットボトルキャップや使用済み切手の回収を行い、リサイクルの意識を高めた。
平山中学校	日々の生徒指導の中で環境美化に関して行っていることを見直し、計画的に行うようにしていきたい。	・ゴミの減量、節水・節電指導	・給食の残飯指導を積極的に行った。 ・節電を意識した。	・日常的な節水指導 ・冷暖房の温度設定の適正化 ・職員会議資料はパソコン上で作成・閲覧できるようにした。 ・給食便りを放送委員が読み上げ、どのような思いが込められて給食の食材が作られているか伝える。 ・出来る限り残飯を減らせるよう日常的に指導している。	・生徒たちが教室を移動する際、日直が電気を消すようにしている。 ・会議では、データでの閲覧を基本とし、紙の使用を削減した。 ・教員の個人ゴミの持ち帰りを実施した。

*平成18年度より事業実施

研究事業実施状況（研究主題）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
日野第一小学校	仲間と体を動かす楽しさを味わい、主体的に学ぶ体育学習	人と関わることを楽しみ、主体的に学ぶ生活科・総合的な学習の時間	多種多様な学びのある指導 ～一人一人が主体的に学ぶ姿をめざして～	「多種多様な学びのある指導」 ～一人一人が主体的に学ぶ姿をめざして～	「多種多様な学びのある指導」 ～一人一人が主体的に学ぶ姿をめざして～
豊田小学校	地域に根差し、明日の社会を切りひらく力を身に付けた児童・生徒の育成 ～9年間の学びの連続性を生かして～（豊田小・五小・二中連携）	豊かな心で進んで学ぶ児童の育成	豊かな心で進んで学ぶ児童の育成 ～生活科・総合的な学習の時間を通して～	「学ぶ楽しさを味わい自ら学び続ける児童の育成」	「学ぶ楽しさを味わい自ら学び続ける児童の育成」 ～文学的な文章の学習を通して～
日野第三小学校	国語科授業のユニバーサルデザイン ～考えたい授業を目指して～	「授業のユニバーサルデザイン」 ～考えが深まる授業を目指して～	国語科授業のユニバーサルデザイン ～考えが深まる授業を目指して～	「全員の考えが深まる授業の創造」 ～『授業のユニバーサルデザイン』を視点として～	「全員の考えが深まる授業の創造」 ～『授業のユニバーサルデザイン』を視点として～
日野第四小学校	自分の考えをもって伝え合い、表現し合う子供の育成 ～「読むこと」の指導を通して～	「自ら論理的に考える児童の育成」 ～プログラミング教育を通して～	児童の論理的思考の育成を目指して ～プログラミング教育を通して～	「互いに支え合い、自分の成長を実感できる児童の育成」 ～児童の願いをかなえる学級会を通して～	互いに支え合い、違いを認め合い、自分の成長に自信がもてる児童の育成 ～児童の願いをかなえる特別活動を通して～
日野第五小学校	地域に根差し、明日の社会を切りひらく力を身に付けた児童・生徒の育成 ～9年間の学びの連続性を生かして～（豊田小・五小・二中連携）	自他の思いやよさを大切に、主体的に行動する児童の育成	自他の思いやよさを大切に、主体的に行動する児童の育成	「自他の思いやよさを大切に、主体的に行動する児童の育成」	他者と協働して学びを深める児童の育成 ～多様な考えを可視化・共有化するタブレット学習～
日野第六小学校	学び・考え・協働し、発信する授業の創造 ～人とかかわり合いを大切に、学びを実践に結び付ける学習指導の工夫～	「学び・考え・協働し、発信する授業の創造」～確かな書く力を育む学習指導の工夫～	主体的・対話的で深い学びを実現するための資質・能力の育成 ～プログラミング教育を通して～	「プログラミング的思考を育成する学習指導の工夫」 ～コンピュータを活用したより良い社会を築いていく態度の育成を目指して～	自分の思いを豊かに伝えるために深い学びを実現する児童の育成～これまでの教育実践とクラウドブックのベスタミックスを目指して～
潤徳小学校	互いの考えを認め合い、よりよく生きる児童の育成 ～考え・議論する道徳授業の実践～	「互いの考えを認め合い、よりよく生きる児童の育成」～考え・議論する道徳授業の実践～	「互いの考えを認め合い、よりよく生きる児童の育成」 ～考え・議論する道徳授業の実践～	「主体的に考えを表現し、学び合う児童の育成」	「主体的に考えを表現し、学び合う児童の育成」 ～Chromebookの効果的な活用法の研究～
平山小学校	主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり	(1) 学びつづける・取り組みつづける平山っ子【学ぶ力・特別活動】 (2) 頑張ったことを認め合う幼児・児童を育てる【幼小連携】 (3) 教員一人一人が前向きに力を発揮できる学校づくり【校務改善】	(1) 児童一人一人が、自分の成長を実感し、支え合い、高め合う仲間集団を育てる【学ぶ力・特別活動】 (2) 頑張ったことを認め合う幼児・児童を育てる【幼小連携】 (3) 教員一人一人が前向きに力を発揮できる学校づくり【校務改善】	「一人一人を大切にしたい学び合い平山モデルの開発」	「一人一人を大切にしたい学び合い」 楽しく前向きに学ぶ子どもたち
日野第八小学校	地域に愛着をもち、自ら考え、学び合う児童の育成 ～地域と連携し、地域資源を活用した活動の実践～	「地域に愛着をもち、自ら考え、学び合う児童の育成」 ～地域と豊かに関わる活動を通して～	持続可能な社会を担う児童の課題解決力の育成 ～地域と豊かに関わる活動を通して～	「持続可能な社会を担う児童の課題解決力の育成」 ～地域の人、自然、社会とのつながりを通して～	自分の思いや考えを伝える力の育成 ～教科等における言語活動の工夫を通して～
滝合小学校	自ら感じ、考え、表現できる子どもの育成 ～読みを深める指導の工夫～	「確かな読みを身に付ける国語科の授業づくり」～説明的な文章の読みを通して～	確かな読みを身に付ける国語科の授業づくり ～説明的な文章を通して～	「優しく強く、個性（いのち）を輝かせる児童を育てる学校の創造」～自分を知り相手を知り、語り合いながら生み出す活動を通して～	教師も子どもも、自分を知り相手を知り、語り合いながら生み出す対話的活動を実践する。
日野第七小学校	一人一人が自分の考えをもち、主体的に伝えようとする児童の育成を目指して	「一人一人が自分の考えをもち、主体的に伝えようとする児童の育成を目指して」～読む力が高まる指導の工夫～	一人一人が自分の考えをもち、主体的に伝えようとする児童の育成を目指して ～対話的な授業の創造、かかわり合いの中で学び合う児童の育成～	「地域への思いを大切にする児童の育成」 ～日野市を知り、日野市について考え、日野市に感謝する気持ちを育てる～	「地域への思いを大切にする児童の育成」 ～GIGAスクール構想をもとに、一人一台端末を利用した多様な学び～
南平小学校	物語を読み深め合う児童の育成 ～言語活動の充実を通して～	「物語を読み深め合う児童の育成」 ～言語活動の充実を通して～	自分の思いや考えを主体的に表現する児童の育成 ～「書くこと」を通して～	「一人一人が主体的に考え、対話的に学びを深めていく児童の育成」	主体的に学び 豊かにかかわりあう児童の育成 ～一人一台端末を活用した単元の開発～
旭が丘小学校	「進んでからだを育もうとする旭っ子」 ～健康的な運動・生活習慣の形成と豊かなかかわり合いのある授業づくりを通して～	「進んでからだを育もうとする旭っ子」～健康的な運動・生活習慣の形成と豊かなかかわり合いのある授業づくりを通して～	進んでからだを育もうとする旭っ子 ～健康的な運動・生活習慣の形成と豊かなかかわり合いのある授業づくりを通して～	「対話力のある児童の育成」	対話で学びを深め合う児童の育成
東光寺小学校	「豊かに読む児童の育成」 ～全ての児童が読み取り、友達と考えを伝え合う授業を目指して～	「自他を大切に、よりよい学級・学校を目指す児童の育成」 ～確かな児童理解と望ましい集団活動を通して～	自他を大切に、よりよい学級・学校を目指す児童の育成 ～互いに認め合い、よさを発揮し合う集団活動を通して～	「自他を大切に、よりよい学級・学校を目指す児童の育成」 ～互いに認め合い、よさを発揮し合う集団活動を通して～	「自他を大切に、よりよい学級・学校を目指す児童の育成」 ～互いに認め合い、よさを発揮し合う学びを通して～
仲田小学校	協働的な学習を通して、自分の考えを深めることができる児童の育成 ～書くことを中心に～	「児童の思いや考えを引き出す学習指導の工夫」 ～児童が自ら伝えたいと思う授業のしかけ作り～	主体的・対話的な学習を通して自分の考えを深めることができる児童の育成 ～言語活動の工夫を通して～	「主体的・対話的な学習を通して自分の考えを深めることができる児童の育成」 ～「話すこと・聞くこと」を通して～	「主体的・対話的で深い学びの取組への授業改善」 ～一人一台端末の活用をした、多様な実践的な取組を通して～
夢が丘小学校	お互いを認め合い、よりよく生きる児童の育成 ～アクティブな道徳授業の実践～	「主体的に考え、学びを深める児童の育成」 ～伝えあいの中で、豊かな『読み』を育む指導～	共に地域に生きる ～交流活動及び共同学習を通して～	「共に地域に生きる」 ～持続可能な社会の創り手となる児童の育成～	「共に地域に生きる 生活科・総合的な学習の時間を通してインクルージョン教育の推進を図る～」
七生緑小学校	算数科における授業のユニバーサルデザイン化 ～全ての児童の参加、理解、習得・活用をめざして～	全ての児童の参加、理解、習得・活用をめざす授業のユニバーサルデザイン化	共に地域に生きる ～交流活動及び共同学習を通して～	「互いの考えを認め合い、主体的に課題を解決しようとする児童を育てる」～多様な「対話」を通して～	主体的に対話をしながら、学び続ける児童を育てる授業づくり

研究事業実施状況（研究主題）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
日野第一中学校	言語活動の充実重点を置いて授業力の向上を図る	「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえた道徳授業実践の方法と道徳の教科化に向けた評価の方法についての研鑽	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けての授業の立案と実践	「各教科の授業における主体的・対話的で深い学びの実現を図るための授業力の向上」	「対話」を基調とした教育活動の環境づくり
日野第二中学校	地域に根差し、明日の社会を切りひらく力を身に付けた児童・生徒の育成 ～9年間の学びの連続性を生かして～（豊田小・五小・二中連携）	「考え、議論する道徳」の授業づくり	「考え、議論する道徳」の授業づくりを目指して	「自ら課題を見つけ、主体的に課題解決を図ろうとする生徒の育成」	教科の授業・道徳・特別活動におけるICT機器の効果的な活用
七生中学校	個に応じたきめ細やかな教育の推進 ～ステップ教室やリソースルームの活用～	「考え、議論する」道徳教育の推進	「考え、議論する」道徳教育の推進	「生徒の主体的な学びを目指した授業力向上」	生徒の主体的な学びを目指した授業力向上 ～指導と評価の一体化を目指して～
日野第三中学校	合理的配慮や個に応じた授業の工夫	「道徳授業の研究」～話し合い活動の充実と評価方法～	共に地域に生きる ～交流活動及び共同学習を通して～	「自ら考え学ぶことができる生徒の育成」 ～一律一斉の授業から自分に合った学びと学び方の研究～	社会の変化に対応した多様なアプローチの検討と自ら考えることができる生徒の育成
日野第四中学校	21世紀型能力を育むための指導の工夫 ～生徒の社会参画力の向上を目指して～	特別な教科道徳 教科化に向けた授業及び評価の研究	教科指導の改善 協働的で深い学び(話し合い活動)を見据えた、評価方法の検討と教科指導の研究	「新学習指導要領完全実施に向けた研究」	「第3次日野市教育基本構想」及びGIGAスクール構想に基づいた各教科の授業改善
三沢中学校	・各教科でのUD化授業・指導案の作成と授業の実施 ・道徳及び各教科で「話し合い活動」を取り入れた授業の実施 ・各学年で、道徳の研究授業の実施 ・全校道徳の実施	・各教科でのUD化授業の推進・指導案の作成と授業の実施 ・各学年で、道徳の研究授業の実施 ・全校道徳の実施	・平成30・31年度 働き方改革研究奨励校（デジタル採点導入・活用、成果と課題） ・地域をステージとした教育活動の実施（ボランティア活動） ちよこぽ（ちよこつとボランティア活動） ・各教科でのUD化授業・指導案の作成と授業の実施 ・道徳及び各教科で「話し合い活動」を取り入れた授業の実施	生徒の学びの充実について	一人一台の端末を活用した学びの充実
大坂上中学校	道徳の教科化を見据えた『ねらい』と『評価』の研究の推進	・道徳の教科化を見据えた『ねらい』と『評価』の研究の推進	・授業力の向上に向けて ・特色ある教育活動（小中連携・特別支援教育）の推進	「教えない指導の研究」 ～生徒が主体的に考える授業の創造～	「教えない指導の研究」 ～生徒が主体的に考える授業の創造～
平山中学校	授業における個に応じた指導の充実 ～生徒が授業のねらいを捉え、思考する過程を通して学力を身に付けるための工夫～	「特別な教科 道徳」の内容理解と評価の在り方～考え、議論する道徳授業の実践を通して～	・授業力の向上に向けて ・特色ある教育活動（小中連携・特別支援教育）の推進	「新学習指導要領における『評価と指導の一体化』のための学習指導の考察」	ユニバーサルデザインを踏まえた指導方法の工夫、その他

中学校卒業者の進路状況 (翌年度 5.1現在)

(人)

卒業年度	男女別	卒業者数	進学者						専修学校等	就職者	無業者等	死亡・不詳	(再掲・就職者のうち)		
			高校(全日制)	高校(定時制)	高校(通信制)	高専	特別支援学校	計					高校(定時制)	高校(通信制)	専修学校等
平成29年度	総数	1,479	1,320	42	60	16	22	1,460	13	-	6	-	-	4	-
	男	747	656	18	40	12	12	738	6	-	3	-	-	4	-
	女	732	664	24	20	4	10	722	7	-	3	-	-	-	-
平成30年度	総数	1,436	1,281	36	71	13	12	1,413	10	1	12	-	-	1	-
	男	711	626	21	37	11	8	703	2	1	5	-	-	1	-
	女	725	655	15	34	2	4	710	8	-	7	-	-	-	-
令和元年度	総数	1,446	1,286	38	75	9	16	1,424	10	1	11	-	-	1	-
	男	750	656	20	46	5	12	739	3	1	7	-	-	1	-
	女	696	630	18	29	4	4	685	7	-	4	-	-	-	-
令和2年度	総数	1,356	1,186	40	73	14	17	1,330	11	7	8	-	-	5	-
	男	718	618	27	34	11	13	703	4	7	4	-	-	5	-
	女	638	568	13	39	3	4	627	7	-	4	-	-	-	-
令和3年度	総数	1,440	1,244	49	96	13	20	1,422	7	2	9	-	-	2	-
	男	734	626	24	49	11	16	726	3	2	3	-	-	1	-
	女	706	618	25	47	2	4	696	4	-	6	-	-	1	-

保育カウンセラー配置事業

(人)

	公私立別	配置園数	配置人数	配置延べ時間
平成29年度	公立	4	4	297.5
	私立	9	6	656.0
平成30年度	公立	4	4	271.5
	私立	9	7	668.0
令和元年度	公立	4	4	272.0
	私立	9	7	634.5
令和2年度	公立	4	4	477.5
	私立	9	8	308.0
令和3年度	公立	3	3	205.5
	私立	9	8	629.5

「選べる学校制度」選択状況（特別支援学級進学者除く）（各年度 4.7現在）

小学校

(人)

入学年度	平成29年度					平成30年度					令和元年度					令和2年度					令和3年度				
	学区内人数	希望者(増)	他校選択者(減)	入学者数	選択率	学区内人数	希望者(増)	他校選択者(減)	入学者数	選択率	学区内人数	希望者(増)	他校選択者(減)	入学者数	選択率	学区内人数	希望者(増)	他校選択者(減)	入学者数	選択率	学区内人数	希望者(増)	他校選択者(減)	入学者数	選択率
日野第一小学校	99	7	37	69	69.7%	76	8	27	57	75.0%	76	10	25	61	80.3%	65	8	26	47	72.3%	94	8	24	78	83.0%
豊田小学校	132	20	24	128	97.0%	165	19	27	157	95.2%	140	17	30	127	90.7%	116	24	11	129	111.2%	148	16	12	152	102.7%
日野第三小学校	81	5	18	68	84.0%	79	5	24	60	75.9%	76	3	12	67	88.2%	80	6	19	67	83.8%	73	8	20	61	83.6%
日野第四小学校	112	19	10	121	108.0%	109	11	8	112	102.8%	115	11	13	113	98.3%	106	10	15	101	95.3%	111	12	3	120	108.1%
日野第五小学校	118	27	21	124	105.1%	131	26	24	133	101.5%	125	25	19	131	104.8%	156	25	34	147	94.2%	139	24	18	145	104.3%
日野第六小学校	121	7	6	122	100.8%	101	10	3	108	106.9%	121	10	3	128	105.8%	123	27	5	145	117.9%	101	9	4	106	105.0%
潤徳小学校	114	38	16	136	119.3%	82	40	13	109	132.9%	104	37	7	134	128.8%	97	40	7	130	134.0%	90	21	12	99	110.0%
平山小学校	80	14	10	84	105.0%	76	14	11	79	103.9%	93	12	9	96	103.2%	98	12	7	103	105.1%	84	11	8	87	103.6%
日野第八小学校	111	20	10	121	109.0%	110	14	13	111	100.9%	110	18	12	116	105.5%	90	7	8	89	98.9%	85	18	11	92	108.2%
滝合小学校	78	3	8	73	93.6%	66	0	10	56	84.8%	74	2	9	67	90.5%	82	0	10	72	87.8%	71	2	9	64	90.1%
日野第七小学校	114	10	16	108	94.7%	96	3	11	88	91.7%	105	10	14	101	96.2%	101	11	16	96	95.0%	93	10	14	89	95.7%
南平小学校	64	21	4	81	126.6%	61	28	8	81	132.8%	80	29	9	100	125.0%	89	7	14	82	92.1%	89	12	8	93	104.5%
旭が丘小学校	89	3	4	88	98.9%	80	3	3	80	100.0%	74	1	6	69	93.2%	78	5	6	77	98.7%	73	5	5	73	100.0%
東光寺小学校	54	3	8	49	90.7%	75	5	9	71	94.7%	61	0	12	49	80.3%	56	2	15	43	76.8%	74	4	12	66	89.2%
仲田小学校	56	14	7	63	112.5%	69	16	6	79	114.5%	57	17	9	65	114.0%	71	20	6	85	119.7%	71	14	6	79	111.3%
夢が丘小学校	65	2	2	65	100.0%	48	2	3	47	97.9%	52	1	1	52	100.0%	59	7	3	63	106.8%	59	4	1	62	105.1%
七生緑小学校	71	2	14	59	83.1%	64	3	7	60	93.8%	65	4	17	52	80.0%	52	1	10	43	82.7%	70	4	15	59	84.3%
計	1,559	215	215	1,559	-	1,488	207	207	1,488	-	1,528	207	207	1,528	-	1,519	212	212	1,519	-	1,525	182	182	1,525	-

中学校

(人)

入学年度	平成29年度					平成30年度					令和元年度					令和2年度					令和3年度				
	学区内人数	希望者(増)	他校選択者(減)	入学者数	選択率	学区内人数	希望者(増)	他校選択者(減)	入学者数	選択率	学区内人数	希望者(増)	他校選択者(減)	入学者数	選択率	学区内人数	希望者(増)	他校選択者(減)	入学者数	選択率	学区内人数	希望者(増)	他校選択者(減)	入学者数	選択率
日野第一中学校	257	20	17	260	101.2%	232	32	27	237	102.2%	239	19	23	235	98.3%	232	18	28	222	95.7%	234	17	22	229	97.9%
日野第二中学校	138	29	44	123	89.1%	154	17	51	120	77.9%	174	24	45	153	87.9%	156	32	50	138	88.5%	185	25	40	170	91.9%
七生中学校	132	44	19	157	118.9%	128	46	19	155	121.1%	140	46	17	169	120.7%	121	53	16	158	130.6%	121	28	24	125	103.3%
日野第三中学校	65	47	12	100	153.8%	66	13	15	64	97.0%	58	20	18	60	103.4%	71	46	15	102	143.7%	66	32	9	89	134.8%
日野第四中学校	220	11	10	221	100.5%	217	22	12	227	104.6%	228	19	10	237	103.9%	209	21	16	214	102.4%	241	11	35	217	90.0%
三沢中学校	287	24	51	260	90.6%	230	37	20	247	107.4%	254	34	17	271	106.7%	263	35	53	245	93.2%	228	27	32	223	97.8%
大坂上中学校	188	5	33	160	85.1%	199	13	31	181	91.0%	211	10	26	195	92.4%	213	9	34	188	88.3%	212	14	24	202	95.3%
平山中学校	100	12	6	106	106.0%	79	17	22	74	93.7%	88	14	30	72	81.8%	90	21	23	88	97.8%	87	41	9	119	136.8%
計	1,387	192	192	1,387	-	1,305	197	197	1,305	-	1,392	186	186	1,392	-	1,355	235	235	1,355	-	1,374	195	195	1,374	-

学校図書館図書保有数
小学校

(冊)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
日野第一小学校	10,882	11,333	10,536	10,434	10,834
豊田小学校	12,387	12,470	11,867	12,238	12,464
日野第三小学校	10,620	10,790	10,959	11,169	11,082
日野第四小学校	9,311	9,442	9,245	9,289	9,230
日野第五小学校	8,601	8,836	9,169	9,631	9,419
日野第六小学校	9,727	9,831	10,141	10,431	10,641
潤徳小学校	11,814	12,003	12,021	12,072	12,192
平山小学校	12,337	12,310	11,954	11,199	11,191
日野第八小学校	12,270	12,218	12,469	12,556	12,508
滝合小学校	10,086	9,851	9,612	9,610	9,829
日野第七小学校	8,273	8,416	8,832	9,053	8,796
南平小学校	10,861	11,153	10,897	11,811	10,773
旭が丘小学校	12,540	12,242	12,302	12,692	12,344
東光寺小学校	9,724	9,961	9,961	10,141	10,357
仲田小学校	9,764	9,939	10,087	9,839	9,791
夢が丘小学校	12,189	12,460	12,231	12,944	13,009
七生緑小学校	9,313	9,215	9,352	9,320	8,904
合計	180,699	182,470	181,635	184,429	183,364

中学校

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
日野第一中学校	14,296	14,564	14,799	15,269	15,702
日野第二中学校	11,912	11,087	10,695	11,133	11,312
七生中学校	10,815	10,886	11,082	11,068	11,242
日野第三中学校	10,060	9,843	9,986	9,778	9,110
日野第四中学校	14,590	14,857	14,779	13,567	13,191
三沢中学校	11,457	11,404	11,542	11,844	12,089
大坂上中学校	11,204	11,253	11,668	11,392	11,421
平山中学校	13,956	14,221	14,081	14,387	14,150
合計	98,290	98,115	98,632	98,438	98,217

学校図書館図書貸出数及び児童・生徒一人あたりの貸出数
小学校

(冊)

	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	貸出数	一人あたり	貸出数	一人あたり	貸出数	一人あたり	貸出数	一人あたり	貸出数	一人あたり
日野第一小学校	14,951	36	16,472	40	18,681	45	17,592	43	18,027	42
豊田小学校	26,516	35	32,128	40	34,131	42	29,877	37	31,334	38
日野第三小学校	20,095	52	22,554	55	23,789	58	27,134	64	25,770	61
日野第四小学校	18,502	25	18,046	25	18,885	26	21,629	31	14,707	21
日野第五小学校	17,423	28	21,193	30	20,350	28	19,073	25	19,627	25
日野第六小学校	21,130	30	24,938	36	25,057	36	24,637	33	28,266	38
潤徳小学校	30,824	42	28,908	40	29,847	41	23,498	32	27,677	39
平山小学校	14,952	29	15,261	28	14,936	28	10,439	18	13,397	23
日野第八小学校	32,161	45	29,237	43	26,193	38	28,296	42	25,680	40
滝合小学校	11,182	27	11,494	27	10,869	25	9,371	21	8,228	19
日野第七小学校	27,130	46	28,450	48	21,006	36	23,786	41	24,286	42
南平小学校	36,099	74	34,414	67	34,718	67	20,222	39	26,045	50
旭が丘小学校	34,390	60	35,735	67	36,326	68	37,873	73	38,229	78
東光寺小学校	17,209	42	14,976	38	12,860	32	10,323	29	11,343	31
仲田小学校	10,174	28	12,145	30	9,446	23	12,910	30	12,504	28
夢が丘小学校	12,962	40	14,030	43	13,687	42	15,507	47	14,104	42
七生緑小学校	14,143	33	12,429	30	10,327	25	9,081	24	10,190	28
合 計	359,843	39	372,410	40	361,108	39	341,248	36	349,414	38

*一人あたりの貸出数：（貸出数÷在籍児童数）で算出しています。

中学校

(冊)

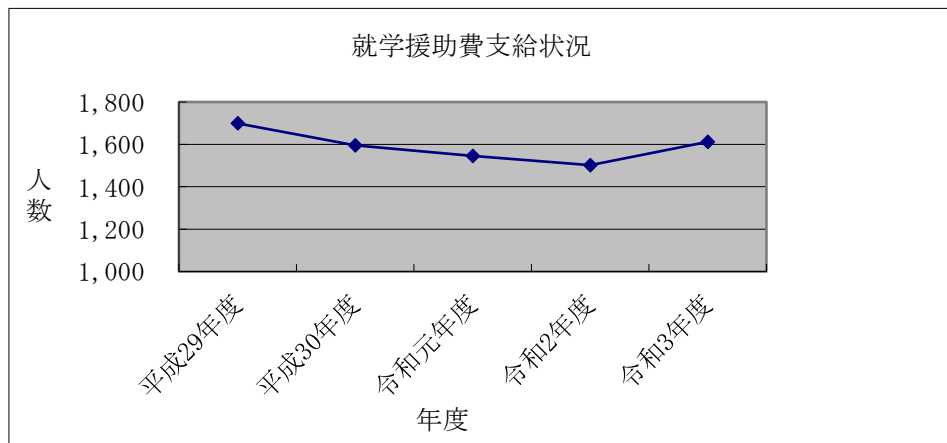
	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	貸出数	一人あたり	貸出数	一人あたり	貸出数	一人あたり	貸出数	一人あたり	貸出数	一人あたり
日野第一中学校	2,255	3	3,342	5	3,874	5	2,364	3	3,112	4
日野第二中学校	3,040	8	3,274	8	3,178	7	2,930	6	3,457	7
七生中学校	3,819	8	4,925	10	6,257	12	6,349	12	6,872	15
日野第三中学校	2,121	6	1,601	7	1,558	7	2,203	9	2,244	8
日野第四中学校	1,516	2	1,475	2	1,750	3	3,609	5	3,095	5
三沢中学校	2,910	4	2,576	3	2,622	3	1,990	3	1,868	3
大坂上中学校	1,333	2	1,182	2	2,077	4	2,173	4	1,974	3
平山中学校	1,293	4	873	3	885	3	1,407	6	1,171	4
合 計	18,287	4	19,248	5	22,201	5	23,025	5	23,793	6

*一人あたりの貸出数：（貸出数÷在籍生徒数）で算出しています。

就学援助費支給状況

(人)

	小学校			中学校			合計
	就学援助費 (要保護)	就学援助費 (準要保護)	小計	就学援助費 (要保護)	就学援助費 (準要保護)	小計	
平成29年度	55	950	1,005	49	645	694	1,699
平成30年度	56	917	973	46	577	623	1,596
令和元年度	63	893	956	48	542	590	1,546
令和2年度	64	884	948	40	514	554	1,502
令和3年度	64	946	1,010	44	558	602	1,612



特別支援教育就学奨励費支給状況

(人)

	小学校	中学校	合計
平成29年度	200	46	246
平成30年度	234	55	289
令和元年度	239	68	307
令和2年度	268	71	339
令和3年度	260	76	336

